

岡山市可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業

落札者決定基準

令和3年4月

岡山市

目 次

第1 本書の位置づけ	1
第2 事業者選定の手順	2
第3 入札参加表明書の確認	3
第4 技術提案書の審査	3
第5 改善技術提案書の審査	3
第6 落札者の決定	7

第1 本書の位置づけ

この落札者決定基準（以下「落札者決定基準」という。）は、岡山市（以下「市」という。）が岡山市可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業（以下「本件事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）の募集・選定を行うにあたって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、事業者を選定するにあたって、入札参加者のうち最も優れた提案を行った者を客観的に評価及び選定するための方法及び基準等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

第2 事業者選定の手順

本件事業における事業者選定は、岡山市建設工事総合評価一般競争入札の試行に関する要綱に基づき、次の手順で実施する。

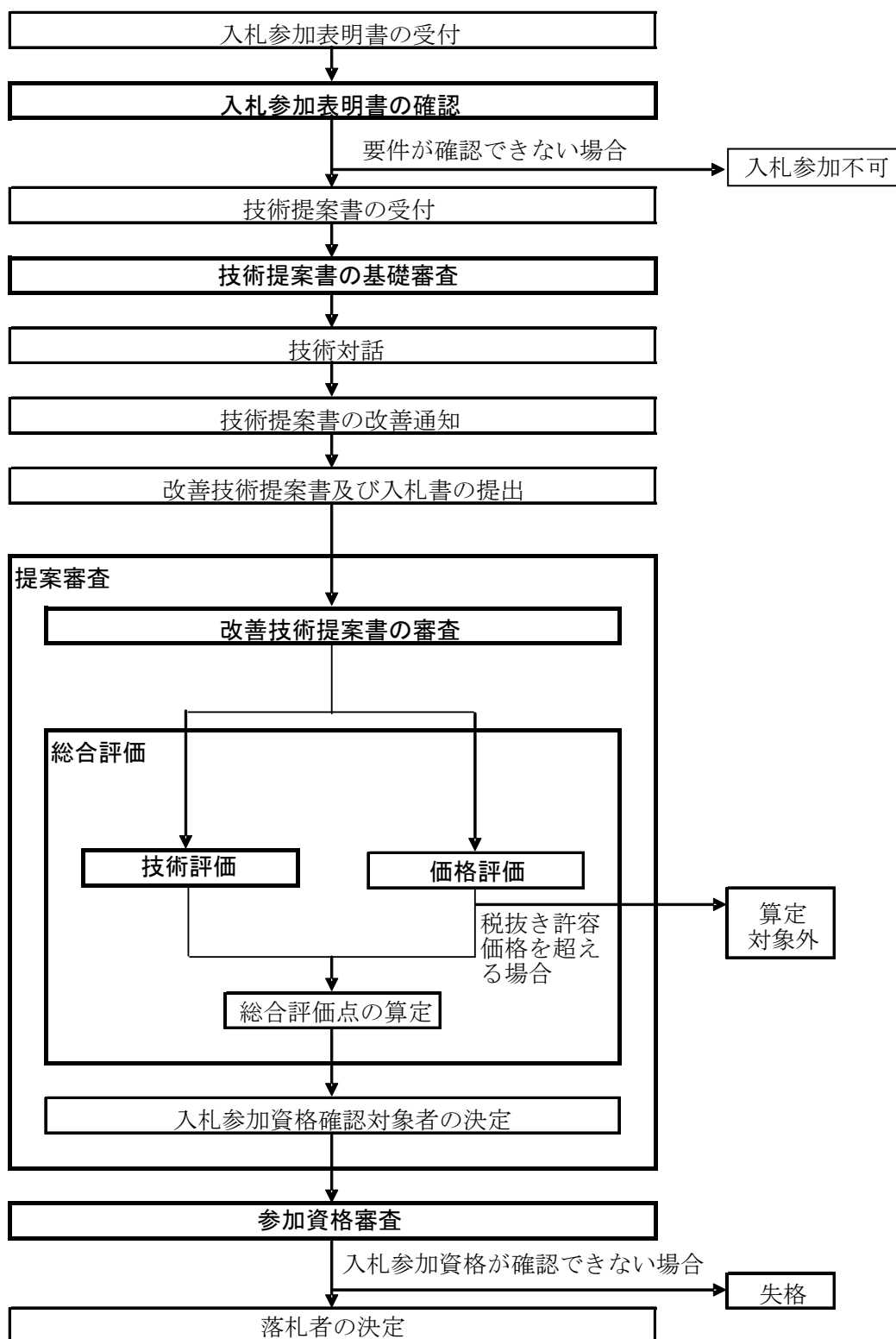


図1 事業者の募集・選定の手順

第3 入札参加表明書の確認

市は、入札参加者から提出された入札参加表明書により、入札説明書に記載した入札参加者が満たすべき参加資格要件のうち、実績要件について確認する。確認できない場合は入札参加不可とする。

第4 技術提案書の審査

市は、入札参加表明書において要件が確認できた者から提出された技術提案書より、以下に示す基礎審査を実施する。なお、技術提案書の改善が必要な場合は、技術対話にて改善を求めるものとする。

1 技術提案書の基礎審査

市は、入札参加者から提出された改善技術提案書に記載された内容が、表1に示す必須項目を満たしていることを確認する。

技術提案書に記載された内容から確認する必須項目は、次のとおりである。

表1 必須項目

内 容
要求水準書の要求水準について違反の無いこと
入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反の無いこと

第5 改善技術提案書の審査

1 改善技術提案書の基礎審査

市は、入札参加者から提出された改善技術提案書に記載された内容が、表1に示す必須項目を満たしていることを確認する。

なお、当該要件を満たしていないと岡山市が判断した場合、当該入札参加者は失格とする。

2 総合評価の評価項目と配点

本件事業は、設計・建設、運営の各業務を事業者に一括して性能発注することで、各業務を通じた包括的な創意工夫が発揮され、より効率的かつ機能的なサービスの提供を求めらるものである。したがって、入札価格のほか、設計・建設、運営等の提案内容、市の要求水準との適合性並びにリスク分担を含む事業計画の妥当性・確実性等の各面から総合的に評価する。

表2に示す評価項目及び配点については、市が本件事業に対して事業者の創意工夫の導出を期待する度合いを勘案して設定したものである。

表2 技術評価項目の構成と配点

評価大項目/評価項目	配点	評価の視点
整備基本方針に係る評価 『安全・安心で安定的な処理が確保され、経済性にも優れた施設』	計:23	

表2 技術評価項目の構成と配点

評価大項目/評価項目	配点	評価の視点
配置動線計画	4	<ul style="list-style-type: none"> 敷地条件をふまえた全体配置計画において、周辺環境への配慮や、合理的な配置について、優れた提案がなされているか。 大規模補修を見据えた、施設配置計画について、優れた提案がなされているか。 収集車や見学者等の安全性・利便性及び渋滞対策に配慮した動線計画について、優れた提案がなされているか。
施工計画	5	<ul style="list-style-type: none"> 地質や地下水などの地盤状況や既存施設の構造を考慮した上での、工期を遵守した安全かつ確実な施工計画について、優れた提案がなされているか。
安全で安定的なごみ処理に配慮した設計と施設運営	5	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な点検と緊急時対応の初動を十分に考慮した動線、トラブルへの未然防止と事後対策、安定した運転計画について、優れた提案がなされているか。 搬入者に対する分かりやすい受付方法及び誘導の手法について優れた提案がなされているか。 受入する廃棄物から処理不適合物等がないかを検査する展開検査の具体的方法及び頻度が合理的かつ適切な提案がなされているか。 処理困難物の除去方法が、合理的かつ適切な提案がなされているか。
運転管理体制	3	<ul style="list-style-type: none"> 同種施設の運転実績や資格を有する専門技術者の配置を考慮した、経済性にも優れた運転管理体制の提案がなされているか。 本件施設の運転管理における優れた人材育成方法の提案がなされているか。
長期安定稼働と長寿命化への対応	4	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全で故障が少なく長期にわたる安定稼働及び施設の長寿命化を考慮した設備設計について、経済性においても優れた提案がなされているか。 装置更新、基幹的施設整備、改造工事等の延命化工事の実施容易性（工事方法及び工事用スペース等）とごみ処理の継続性確保について、優れた提案がなされているか。 本件施設の長期安定稼働を前提とし、適切な維持管理計画の提案がなされているか。 運営期間終了後を見据え、次期事業者への具体的な引継ぎ方法及び引継ぎ後のサポートについて、優れた提案がなされているか。
資源循環機能	2	<ul style="list-style-type: none"> 本件施設から発生する焼却灰・焼却飛灰等の資源化について、優れた提案がなされているか。
整備基本方針に係る評価 『焼却による熱エネルギーを最大限活用し、地域や市民に貢献できる施設』	計:12	
焼却廃熱の有効利用	6	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー回収率を最大化するための熱回収システムの最適化の取り組みと工夫について、優れた提案がなされているか。 優れた運転計画等による発電量の増加により、運営期間を通じて市に帰属する余剰電力が可能な限り多くなるような取り組みと工夫について、優れた提案がなされているか。
災害に強い施設	6	<ul style="list-style-type: none"> 過去の大地震及び浸水を教訓とした設計と被災時の施設機能確保を具備した強靱な施設計画について、優れた提案がなされているか。

表2 技術評価項目の構成と配点

評価大項目/評価項目	配点	評価の視点
		<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に備えた継続運転が可能となる対策について優れた提案がなされているか。 ・地域住民の復興を支える防災拠点機能(ハード面及びソフト面)について優れた提案がなされているか。
整備基本方針に係る評価 『周辺の住環境にも配慮し、環境教育にも貢献できる施設』	計:11	
施設の周辺環境保全に配慮した設計、施工及び運営管理	6	<ul style="list-style-type: none"> ・設計施工計画について周辺環境に配慮した優れた提案がなされているか。 ・公害防止基準値を確実にかつ定期的に遵守するための設備計画及び運営管理上の施策について、優れた提案がなされているか。
外観・景観計画	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本件施設の建物及び外構施設の外観デザイン並びに景観・緑化計画は、「岡山市景観条例」及び「岡山市景観計画」に配慮した優れた提案がなされているか。
環境学習・環境啓発機能	3	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会や環境問題などについて効果的に学習できる環境を提供するための機能について優れた提案がなされているか。 ・安全かつユニバーサルデザインに配慮し、ごみ発生から処理までの過程が分かりやすい見学者動線について優れた提案がなされているか。
事業実施方針に係る評価	計:14	
事業実施体制	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業期間を通して円滑且つ効果的に実施するための充実した実施体制を構築するための工夫について優れた提案がなされているか。 ・不測の事態が発生した際のバックアップ体制について、優れた提案がなされているか。
リスクマネジメントとモニタリング計画	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業期間におけるハード面及びソフト面におけるリスクの洗い出しと対応策について、優れた提案がなされているか。 ・設計施工、運営における各段階で要求水準書及び契約書等の内容を遵守できているかをセルフモニタリングする手法及び市がそれらを確認するための体制及び手法について、優れた提案がなされているか。
地元経済への貢献	6	<ul style="list-style-type: none"> ・設計施工段階における市内企業への発注金額について、優れた提案がなされているか。 ・運営管理業務期間における市内企業への発注金額について、優れた提案がなされているか。 ・運営管理業務における地元住民の活用等の地元経済貢献に資する取り組みについて、優れた提案がなされているか。
地域との共生	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本件敷地及び施設内において、地域住民が気軽に利用できる施設について優れた提案がなされているか。 ・地域コミュニティへの具体的な協力について優れた提案がなされているか。
技術評価項目得点(合計)	60	

3 技術評価点の算定

市は、第5-1の審査を通過した改善技術提案書について、表2に示す評価項目ごとに評価を行う。

市は、技術評価の評価結果に基づき、表3に示す5段階評価による得点化方法により技術評価点を算定する。

なお、技術評価点の算定の際には、各評価委員の評価点を平均処理し、小数点以下が発生した場合は、小数点第三位以下を切り捨てとする。

表3 技術評価項目の得点化方法

評価	判断基準	点数化
A	当該評価項目について特に秀でて優れている	配点×1.00
B	当該評価項目について秀でて優れている	配点×0.75
C	当該評価項目について優れている	配点×0.50
D	当該評価項目についてわずかに優れている点を認める	配点×0.25
E	当該評価項目について優れている点が認められない	配点×0.00

4 価格評価点の算定

(1) 入札価格の確認

市は、開札を行い、入札書に記載された入札価格が税抜き許容価格の範囲内であることを確認する。なお、当該入札価格が税抜き許容価格を超える場合は失格とする。

(2) 入札価格の得点化方法

市は、上記1)の確認を通過した入札価格について、次の方法により価格評価点を算定する。

ア 入札参加者中、入札書に記載された入札価格が最低である者を1位とし、配点の満点である40点を付与する。

イ 他の入札参加者の得点は、最低となる入札価格と当該入札価格との差額を1点287,000,000円の割合で得点換算し、それを配点の満点から減じた点数を付与する。

ウ 得点化の際は、小数点第3位以下は切り捨てとする。

$$\text{価格評価点} = 40 \text{ 点} - \frac{\text{当該入札価格} - \text{最低入札価格}}{287,000,000 \text{ 円}}$$

(算出例)	Aグループ:	入札価格	295億円	(入札参加者中、最低の入札価格)
		価格評価点	40.00点	
	Bグループ:	入札価格	315億円	
		価格評価点	33.03点	
			40点 - (315億円 - 295億円) / 2.87億円	
			= 33.03点 (小数点第3位以下を切り捨て)	
	Cグループ:	入札価格	327億円	
		価格評価点	28.85点	
			40点 - (327億円 - 295億円) / 2.87億円	
			= 28.85点 (小数点第3位以下を切り捨て)	

5 総合評価点の算定

市は、学識経験者の意見を聴取した上で、以下の方法により、技術評価点及び価格評価点の合計（総合評価点）を算定し、総合評価点が最も高い提案を行った入札参加者を入札参加資格確認対象者として決定する。

なお、総合評価点の最も高い者が2人以上あるときは、入札価格の低い方を入札参加資格確認対象者とし、入札価格も同一のときは、くじにより入札参加資格確認対象者を決定する。

（総合評価点の計算方法）

$$\text{総合評価点（100点満点）} = \text{技術評価点（60点満点）} + \text{価格評価点（40点満点）}$$

第6 落札者の決定

入札参加資格確認対象者となった者は、速やかに入札参加確認申請書等を市に提出する。市は、入札参加資格確認対象者より提出された入札参加資格審査申請書等について、参加資格審査を行う。

当該審査の結果、入札参加資格を有することが確認できた場合は、落札者として決定し、入札参加資格確認結果を通知するとともに、速やかに公表する。